

## 経済の動き\*

### 【全体感】

東北地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、このところ弱い動きとなっている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、このところ弱い動きとなっている。設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、高水準ながらも減少しているほか、住宅投資は、高水準ながらも一段と減少している。こうした中、生産は、弱含んでいる。雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状態にあり、雇用者所得は緩やかな増加基調にある。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

### 【各論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、震災復旧・復興関連工事を主体に高水準ながらも減少している。

設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

12月短観（東北地区）における2019年度の設備投資をみると、製造業では、一部に外需の鈍化を反映して投資計画を見直す動きがみられるものの、維持・更新投資に加え、需要増加を受けた能力増強投資や新製品対応投資がみられている。一方、非製造業では、一部に新規出店等で投資を積み増す動きがみられるものの、前年に実施した大規模投資の反動減がみられており、全体では前年を下回る計画となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、このところ弱い動きとなっている。

主要小売業販売額は底堅く推移している。内訳をみると、ドラッグストアは増加しているほか、スーパーやコンビニエンスストアは横ばい圏内の動きとなっている。一方、百貨店は減少している。耐久消費財をみると、家電販売額は底堅く推移しているものの、乗用車販売は減少している。

足もとでは、サービス消費を中心に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている。

\* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区6県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店HPへのアクセス

当店HPでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



住宅投資は、震災復興需要のピークアウトに加え、貸家着工に弱めの動きがみられることから、高水準ながらも一段と減少している。

## 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、弱含んでいる。

主要業種別にみると、生産用機械等は、増加している。輸送機械は、底堅い動きとなっている。電子部品・デバイスは、下げ止まっている。一方で、食料品は、低調な動きとなっている。

ただ足もと、一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられており、幅広い業種で先行きの不透明感が高まっている。

## 3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状態にあり、雇用者所得は緩やかな増加基調にある。

## 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

## 5. 企業倒産

企業倒産は、低水準ながらも増加基調にある。

## 6. 金融情勢

預金動向をみると、公金が前年を下回っているものの、個人・法人が前年を上回って推移していることから、全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行仙台支店営業課 TEL：022-214-3120
---